

I 令和4年度 菊名小学校 全体計画構造図

- ・ 日本国憲法
- ・ 教育基本法
- ・ 学校教育法
- ・ 学習指導要領

- ・ 横浜基本構想 ・ 横浜教育ビジョン
- ・ 横浜市教育振興基本計画
- ・ 横浜版学習指導要領

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指し、「知」「徳」「体」「公」「開」の視点を相互に関連付けながらバランスよく育んでいきます。

・ 子どもや地域の実態 ・ 地域の願い

大綱中ブロック9年間で育てる子ども像

- 主体的に学習に取り組む子ども
- あいさつができ、友達や地域との関わりを大切にできる子ども
- 自分の良さを活かしながら夢や希望に向かってチャレンジする子ども

上の宮中ブロック9年間で育てる子ども像

- 自分の可能性を信じ、何事にも全力で取り組む子ども

学校教育目標

「**こころ ゆたかな きくなの子**」

- 意欲的に問題解決学習をする子。(知)
- 自分や相手を大切にできる子(徳)
- 心と体の健康な子(体)
- まちを愛する子。(公)
- 違いを認め合える子(開)

豊かにかかわる

心をつなぐ

学校教育目標を実現するための具体的な目標

知 ○「自ら問題を設定できる授業」「活用力を問う授業」を展開し、課題解決に向け、発言力、表現力が高まるような支援をすることを通して、よりよい解決をめざそうとする子を育てます。

徳 ○人とふれあう場を設定し、満足感や充実感が味わえるような支援をすることを通して、自分や他者を深く見つけ、他者と深くかかわろうとする子を育てます。

体 ○体験学習や保健活動を充実させることを通して、心と体の健康を守ることに関心をもち、進んで健康づくりに取り組む子を育てます。

公 ○まちを知り、まちの方とふれあう活動を通して、地域に愛着をもち、自らも地域社会の中で役に立とうとする子を育てます。

開 ○道徳教育や人権教育の充実を図ることを通して、違いのよさを理解しようとする子を育てます。

幼稚園・保育園の特色

低学年

- 自分の思いや願いを表現する楽しさを味わいながら、学び合うよさを実感できる子
- お互いの思いを大切にしながら、身近な人と進んでかかわろうとする子
- 健康の大切さを知り、進んで運動する子

中学年

- 自分の思いや願いを様々な方法で表現しながら、問題を解決する子
- 自分や相手との違いのよさを理解し共に高めあおうとする子
- 健康に興味を持ち、進んで運動したりよい生活習慣を身につけたりしようとする子

高学年

- 問題や課題を進んで見つけ、学習したことを生かして自らが主体となって解決しようとする子
- 他者の思いや願いを深く見つけ、他者に自らかかわろうとする子
- 自分の健康について深く考え、進んで体を鍛えようとする子

<大綱中の目標>
共に学び、自他を大切に、たくましい、心豊かな人を育てます。

<上の宮中の目標>

- 生涯学び続けることができる人
- 何事にも努力し実行できる人
- 自他の生命を大切に、心身の健康な人
- 「まち」から学び、社会に貢献できる人
- 自他を認め合い共生できる人

各教科等教育活動の指導の重点

(★印は重点)

★豊かな心の育成

- 道徳教育の充実
 - 道徳教育の重点目標
 - ・自分のよさを生かし、目標に向かってねばり強くやりとげようとする。
 - ・思いやりの心を持ち、互いに信頼しあって、協力し助け合おうとする。
 - ・生きることを喜び、自他の生命を大切にしようとする。
 - ・公共心や公德心を養い、進んで働き、よりよい社会を築こうとする。
- ルールを守るなどの規範意識や礼儀(挨拶・返事)を大切に指導の充実。
- 学校の環境整備
 - ・清掃活動指導の充実、日常の整理整頓
 - ・校内掲示
- 人権教育の推進

★健康でたくましい心の育成

- 目標設定をし、その実現に向けた体力向上
 - ・休み時間の外遊びの励行・手洗いうがいの励行
 - ・運動機会の確保 投力・持久力の向上
- 食教育の重点目標
 - ・食の重要性 ・心身の健康 ・感謝の心
 - ・食品を選択する能力 ・社会性 ・食文化
- オリンピック・パラリンピック教育推進校

学習の基礎的能力の育成

- 全教科において表現力「書く」「話す」指導の徹底
 - ・伝え方(説明・思いの伝達等)の基本指導の充実
 - ・ノート指導
- 「読み」「書き」「計算」の指導の徹底
- 読書活動の充実 ・まごころの会の活動の充実
- 学校司書との連携

<各教科の指導の重点>

国語—コミュニケーション力、表現力の基礎能力の徹底。「書く」「話す」の基本指導徹底。音読力向上。

社会—事実をじっくりとみつけ、ともにかかわり合いながら追究することで、社会とのつながりを実感し、自分を見つめ自分をつくっていく子の育成

生活—自分の思いや願いをもって活動する中で、人と共にかかわり合いながら、気づきを持ち、自分を見つめ自分をつくっていく子の育成

算数—基礎・基本の確実な習得。学び合いを通じた数学的な思考力・判断力表現力の育成。

理科—基礎・基本の習得。自然現象に対する興味関心を高める。

問題解決学習の習得。科学的思考、判断力の育成。

音楽—音楽的情操の育成。表現力の基礎能力の育成。

家庭—生活に必要な技能の習得。自立的な食生活等の理解と実践力。

図工—創造的活動の意欲。造形活動を進んで行おうとする心情の育成。

体育—健康に対する意識の向上。自己の体力を知り、運動を継続していこうとする態度の育成。及び技能の習得。

総合—問題解決や探求活動に主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育てる。

- 自ら問題を見つけ、自ら学び、自ら考え主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力の育成。
- 学び方やものの考え方を身につけ、問題解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。
- 各教科、道徳及び特別活動で身につけた、知識や技能等を相互に関連づけ、学習や生活において生かし、それらが総合的にはたらくようにすること。

YICA—外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。積極的にコミュニケーションを図ろうとする。

言語や文化について体験的に理解を深める。

道徳—○徳的価値の自覚及び自己の生き方について、考えを深める。

- 道徳の実践力を育成する。
- 自己を見つめ道徳的価値を内面的に自覚する。
- 主体的に道徳の実践力を育成する。
- 教材の工夫、日常化に向けた取組

★コミュニケーション能力の育成

- 心豊かな人間関係づくり
 - きょうだい学年活動の充実
 - ・運動会(体育)
 - ・ふれあい遠足
 - ・ふれあい集会
 - 集団活動や体験的な活動の充実(特活)
 - 望ましい集団活動を通して
 - ・自分自身のよさに気づく子
 - ・自分たちの生活を自分たちの手で創ろうとする子
 - ・友だちのよさを認め、協力して活動しようとする子
- 組織的な児童指導の取組
 - ・特別支援教育の推進
 - ・小中での系統的な指導の継続
- 英語教育の充実
 - ・教材や指導の工夫
 - ・国際理解教室での異文化理解

情報化社会を生き抜く能力の育成

- 情報モラルの育成
 - ・個人情報保護 ・携帯電話、メールの使用について
- PCルーム・図書館教育の充実
 - ・情報収集(インターネット検索) ・学校司書の活用
- プレゼンテーション能力の育成
 - ・情報の整理、加工 ・文書作成と保存

社会の変化に対応する能力の育成

- 安全教育の充実
 - 自分の身は自分で守ることができることを基本とした指導。・不審者対策訓練
 - ・交通安全指導 ・防犯教室
- 福祉教育の充実
 - 地域ケアプラザの見学 ○アイマスク・点字・車椅子体験
- 栽培活動の充実
 - ・稲作 ・緑のカーテン ・サツマイモ作り
- 環境教育の充実・エコキャップ回収

4つの具体的取組

○一人ひとりのニーズに対応した教育の実現

- ・知識、技能の習得と活用に向けた授業改善
- ・特別支援教育の充実
- 個別的教育支援計画(アセスメントシート)
- 個別の指導計画 ケース会議

○『横浜の時間』の創設

～総合的な時間の再構築～

- ・体験的な活動、問題解決学習 ・地域の材の単元化
- ・地域の人材活用
- ・教育課題

幼稚園・保育園との連携・協力

- 生活科の学習での交流
- 入学前の教師間による情報交換
- 初任者研修での体験学習
- スタートカリキュラムとアプローチプランとの接続

○読解力向上に向けた横浜型指導モデルの推進

○異校種間及び地域との連携・協力

地域との連携・協力

- ともいく委員会による学校評価
- 学援隊による児童の安全指導協力
- まごころの会による読書活動
- ボランティア活動(清掃・図書・テトラパック等)
- 地域行事への参加・連携

中学校との連携・協力

(大綱中学校・上の宮中学校・篠原中学校・樽町中学校)

- 指導内容・方法の連携
- 授業参観・部活動見学(児童生徒交流日)

ともいく委員会

教育課程・児童理解・児童指